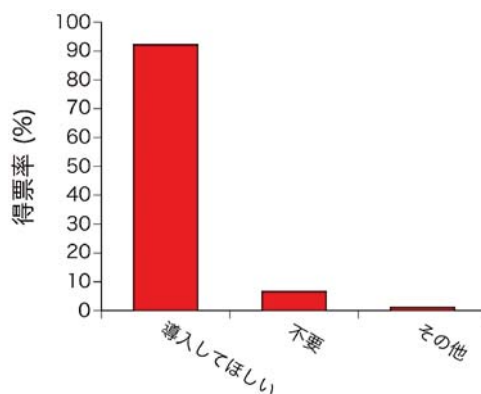


7. 研究者 ID で経歴・業績など一括管理

研究費の申請書・報告書に記載する情報には重複する部分・内容が多い一方で、それぞれの書類のフォーマットが大幅に異なっていることがムダを生んでいる、という意見があります。

[Researchmap](#) や [ReaD](#) など eRad のような申請システムをそれぞれ改善して統合し、一箇所だけでデータをアップデートしておきさえすれば各種書類で研究者 ID を入力するだけで必要情報が自動入力されるようなものが、ここでイメージされているものです。

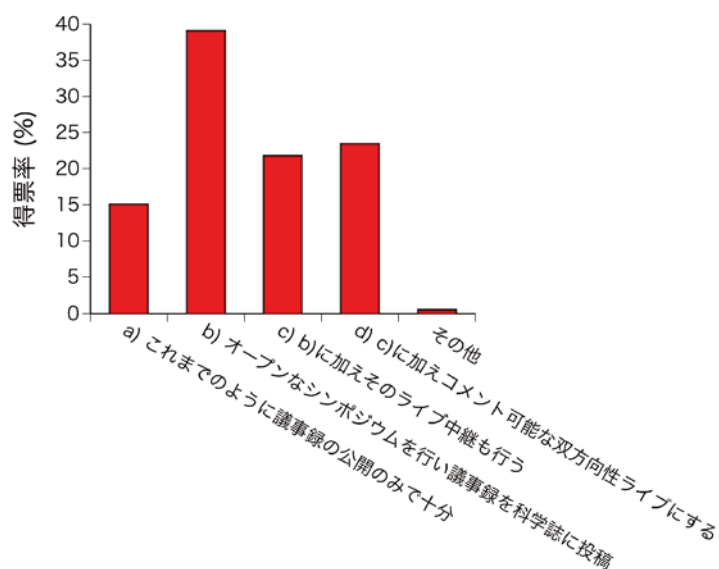
質問： 研究者 ID に経歴・業績などが登録され、各種書類にその ID を記入するだけというシステムは？



8. 重要な科学政策の会議はオープンに？

重要な科学政策の決定が少数の高名な研究者や官僚の方々の間で閉鎖的に決められてしまっているのを、これをもっとオープンにしたほうがよいのでは、という意見があります。

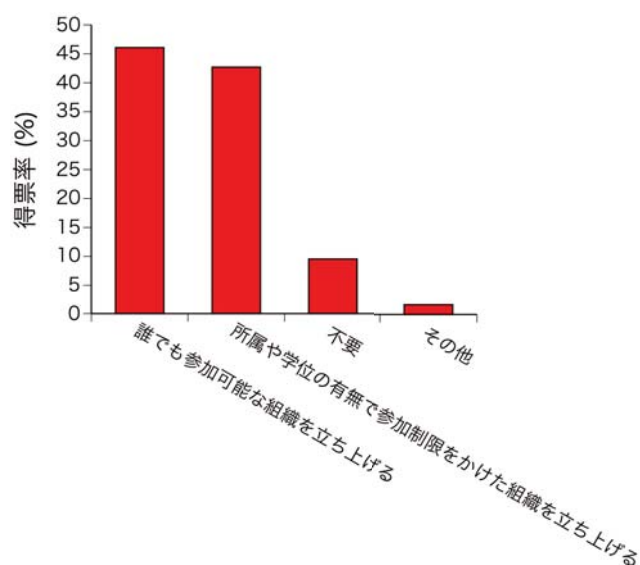
質問： 重要な科学政策立案の会議はよりオープンにするほうが良いのでは？



9. 分野横断的な研究者の組織の立ち上げ

科学技術研究を取り巻く環境について、人任せではなく自分たちも関わりつつ創っていくことを目指して、日本でも分野横断的な研究者の組織をつくる必要がある、という意見があります。そのような組織があることにより、政治家や官僚の方々との議論がスムーズにいくようになることも期待できます。

質問： 若手も含めてすべての科学分野の研究者が参加可能な組織を日本で立ち上げるのと良いのでは？



10. 予算配分の方法

現在の科研費や大型プロジェクトの予算配分の方法は、金額・採択率・選定方法は適正で公平になっているか、トップダウン・ボトムアップの分け方が適切か、など様々な観点から議論を行い改善をしたほうが良い、という意見があります。

質問： 現在の科研費や大型プロジェクトの予算配分の方法は適当だと思いますか？

